

立正大学学園 平成30年度決算報告

本学園の平成30年度決算は、理事会、ならびに評議員会において承認可決されました。ここにその概要を説明します。

1. 事業活動収支計算書について

事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動収入及び事業活動支出の内容及び収支の均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すものです。事業活動収入計は15,780,231千円で、対前年度比△352,949千円、2.2%の減となりました。これは主に昨年度発生した有価証券売却差額235,420千円が当年度発生しなかったことによるものです。事業活動支出計は16,471,031千円で、対前年度比837,572千円、5.4%の増となりました。これは主に教育研究経費が増加したことによるものです。基本金組入額は996,250千円で、対前年度比189,736千円、23.5%の増となりました。

当年度収支差額は△1,687,050千円であり、これに前年度繰越収支差額△2,466,167千円を加算すると翌年度繰越収支差額は△4,153,216千円となりました。

2. 資金収支計算書について

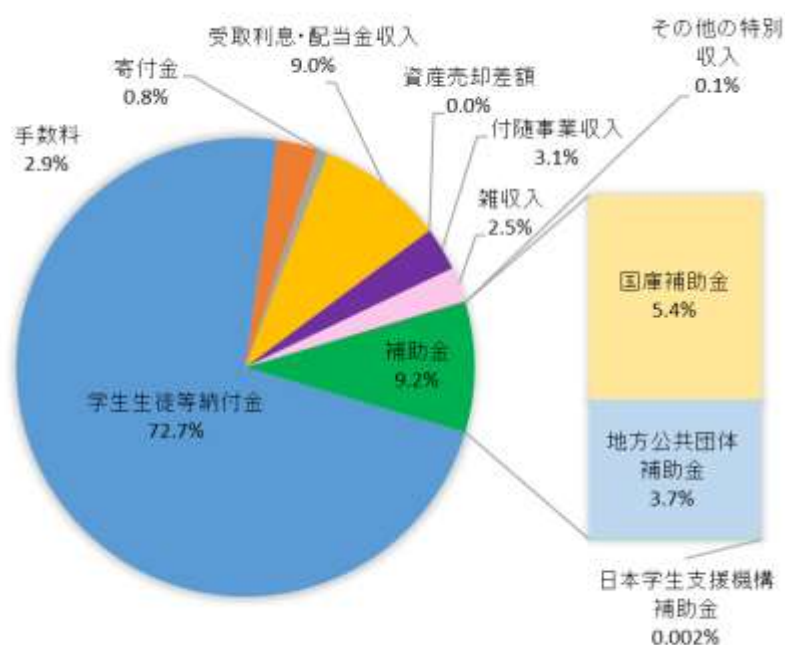
資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容及びに支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。資金の収入額は28,964,287千円でこれに前年度から繰越された支払資金12,052,561千円（30年4月1日現在の支払資金残高）を加えた41,016,848千円が当年度の収入総額です。ここから人件費支出以下の当年度中に支出された額29,299,782千円を差し引いた残り11,717,066千円が翌年度へ繰越される支払資金となりました。

3. 貸借対照表について

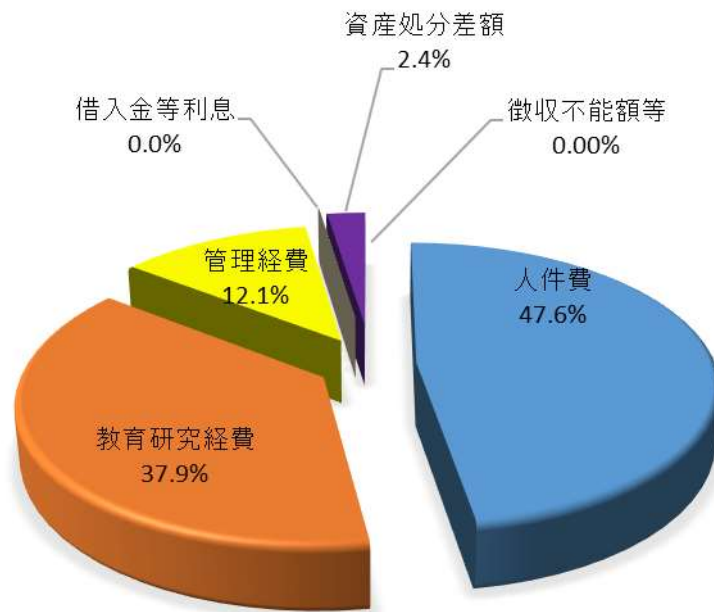
貸借対照表は、年度末日における資産、負債、純資産の残高を示し、学校法人の財政状態を明らかにするものです。本学園が所有しております資産の総額は、前年度と比べ1,563,489千円減少(1.5%減)し、100,011,486千円となり、これに対し負債の総額は、前年度に比べ872,690千円減少(10.5%減)し、7,421,718千円となり、総資産に対する総負債の割合は7.4%（40%以下なら健全といわれております）となりました。基本金は96,742,984千円、繰越収支差額は△4,153,216千円となり、総資産から総負債を引いた純資産は92,589,768千円(対前年度690,799千円減)となりました。

以上

事業活動収入



事業活動支出



事業活動支出 + 基本金組入額

